

鶴見区地域防災計画（概要版）

鶴見区で最も被害があると想定されている生駒山断層帯地震では、震度が6弱から7、死傷者数は約2,000名、建物の全半壊が約6,900棟と想定されています。



被害を最小限にするには、区民の皆さんの
日ごろからの備え＝「自助」・「共助」が重要です。
日ごろの備えと災害時の対応を確認しておきましょう！！

災害を知ろう：鶴見区で想定されている生駒断層帯地震や南海・東南海地震の震度や被害想定などを掲載しています。

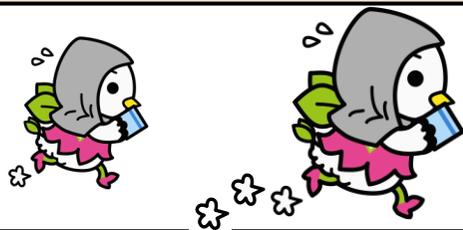
自然災害

- (1) 地震（直下型地震・海溝型地震）
- (2) 津波（地震や火山活動（海底）などによって生じる長周期の波）
- (3) 河川氾濫（大雨で川から水があふれ出る）
- (4) 内水氾濫（大雨で下水道から水があふれ出る）



自助＝自分や家族の命を自分達で守る取組みを掲載しています。

1. 家庭で災害時の役割分担を決めておきましょう
2. 非常時の連絡方法の確認をおきましょう
3. 災害情報の入手方法を確認しておきましょう
4. 津波や水害時の浸水想定区域、浸水深を確認しておきましょう
5. 非常持ち出し袋の準備をしましょう



共助＝隣近所や地域（企業）での助け合いなどの取組みを掲載しています。

1. 自主防災組織の設置
2. 自主防災訓練・防災学習会の実施
3. 災害時要援護者の把握と支援体制の構築
4. 企業・事業所等がもつ人的・物的資源の支援体制（地域との連携）の構築
5. 津波（水害）避難場所の指定

公助＝区役所が取組むことや避難場所などを記載しています。

1. 区役所の平常時の主な取組み
2. 災害時における区役所の活動
3. 災害時地域協力貢献事業所・店舗等登録制度
4. 避難所一覧表
5. 鶴見区防災マップ

